

2021年3月11日

超高層集合住宅建設作業所におけるグリーン電力の使用を開始

— 「脱炭素社会への貢献」を目指した施工段階におけるCO₂排出削減の取り組み —

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、施工中の超高層集合住宅建設作業所（Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING RESIDENCE）において、2021年3月11日より工事用電力としてグリーン電力（※1）の使用を開始しました。

当社は、環境方針“Green Challenge 2030”を制定し、2030年の理想の姿を見据えた「脱炭素社会への貢献」を目指す中で、同作業所における施工段階でのCO₂排出削減の取り組みとして、エバーグリーン・マーケティング株式会社（東京都中央区京橋二丁目2番1号 代表取締役社長 田中 稔道）が供給するトラッキング付非化石証書（※2）を活用した実質再生可能エネルギー100%となる電力を使用するものです。

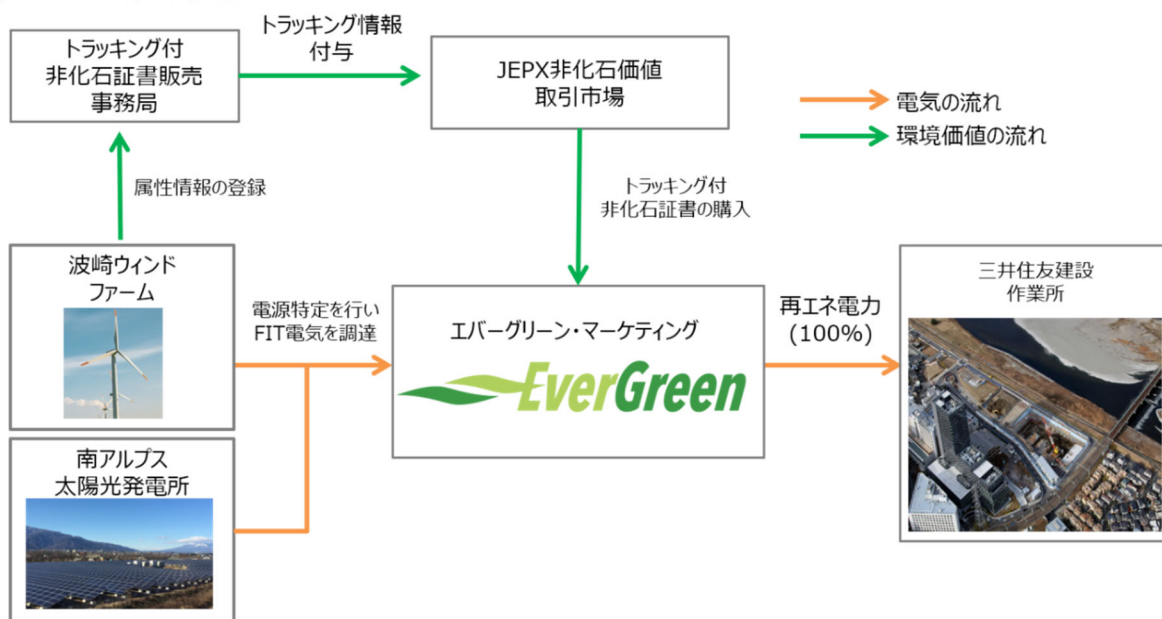
（※1）太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱など、自然を利用した「再生可能エネルギー」で作った電気

（※2）固定価格買取制度（FIT）対象の再生可能エネルギー電源の電気に対して発行される証書



【Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING RESIDENCE の完成イメージ】

Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING RESIDENCE は「平成 31 年度超高層 ZEH-M(ゼッチ・マンション)実証事業」に採用されており、断熱性能の向上や効率的な設備等の導入により大幅な省エネを実現し、共用部を含むマンション全体での一次エネルギー消費量を 20%以上削減する ZEH-M Oriented を満たしています。施工段階でのグリーン電力の使用により、ライフサイクルを通じて環境負荷の少ない超高層集合住宅の実現に貢献します。



【グリーン電力調達の流れ】

■Brillia Tower 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING RESIDENCE

事業主：東京建物(株)・(株)東栄住宅・京王電鉄(株)・伊藤忠都市開発(株)
 所在地：東京都多摩市
 延床面積：約 47,613 m² (約 14,428 坪)
 構造規模：鉄筋コンクリート造 地上 33 階 塔屋 2 階 総戸数 520 戸 (予定)
 設計：三井住友建設株式会社一級建築士事務所
 施工：三井住友建設株式会社
 竣工：2022 年 10 月 (予定)

■今後の展開

今回のグリーン電力の使用によって、“Green Challenge 2030”で定めたKPI「施工段階におけるCO₂排出削減『原単位を1990年比で50%削減』」の達成に一層近づくこととなります。
 今後も積極的なグリーン電力の使用を図り、脱炭素社会の実現に向けた環境活動に取り組んでまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
 三井住友建設株式会社
 〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号
 広報室 平田 豊彦
 TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204
 Email:information@smcon.co.jp